

最後まで圧巻のストーリーで視聴者を魅了！ 『VIVANT』最終回、くぎづけになったシーンTOP3を発表

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るREVISIO株式会社（2022/10/1にTVISION INSIGHTSから社名を変更、所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下REVISIO）は、日本中を熱狂の渦に巻き込んだ人気ドラマ、地上波TBS系列日曜劇場『VIVANT』の最終回について、どのシーンが一番視られていたのか、毎分の注目度データを使って分析致しました。（注目度が高いことは、テレビの前の視聴者がくぎづけになったことを表します）

※本記事にはドラマの内容が含まれております。未視聴の方はご注意ください。



REVISIOが2023年8月にリリースした「2023年7月クール ドラマ初回放送注目度ランキング*」でも、個人全体、男性、女性の視聴者から高い注目を集め、放送開始時から日本中がくぎづけになっていたTBS系列日曜劇場『VIVANT』は、2023年9月17日（日）についに最終回を迎えました。

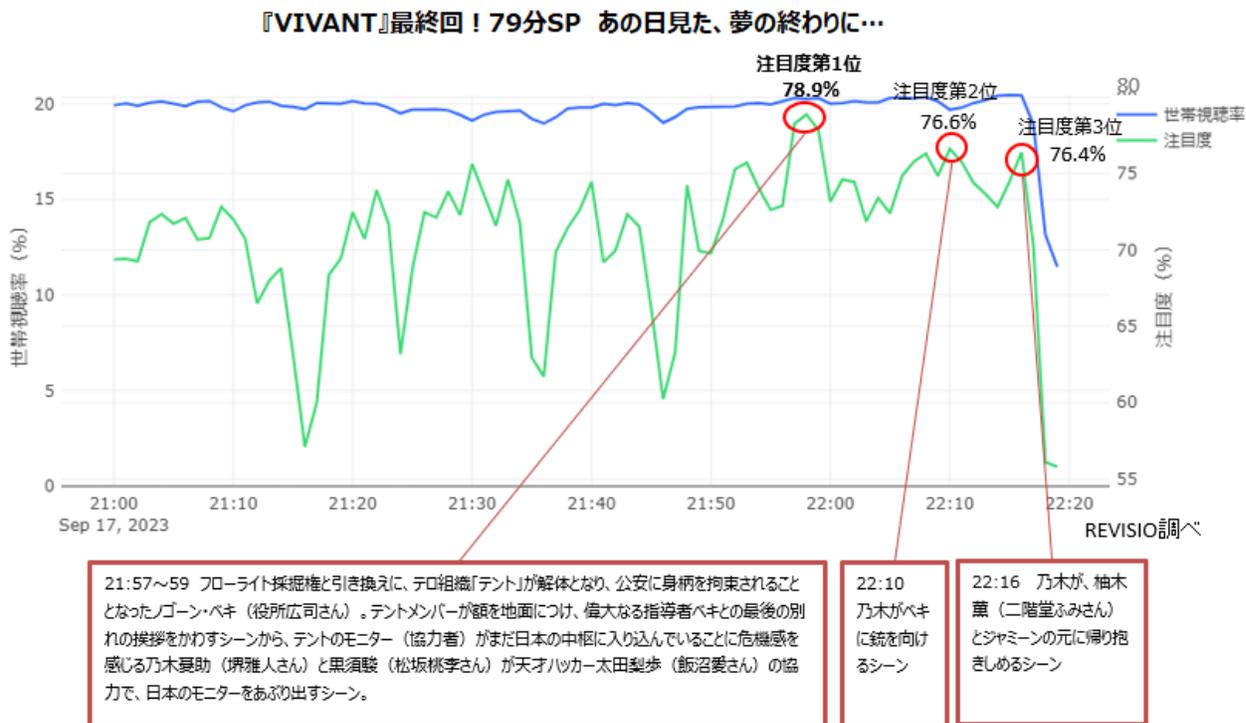
『VIVANT』は多くの伏線がはりめぐらされたドラマで、毎話放送のたびに、それに対する考察が「考察班」によって発表され、インターネット上でも盛り上がりを見せていました。そんな「日曜劇場『VIVANT』最終回！79分SP あの日見た、夢の終わりに…」で注目度が高かったシーンのベスト3を発表します。

※2023年7月クール ドラマ初回放送注目度ランキング

<https://revisio.co.jp/blog/XBr8oSYt>

最もくぎづけになったシーンは、「テント」解体からモニターをあぶり出す場面

日付：2023年9月17日（日）放送
属性：個人全体



●1番注目されたシーン 21時57分から59分 「テント」解体からモニターをあぶり出すシーン 注目度：78.9%

フローライト採掘権と引き換えに、テロ組織「テント」が解体となり、公安に身柄を拘束されることとなったノゴーン・ベキ（役所広司さん）。テントメンバーが額を地面につけ、偉大なる指導者ベキとの最後の別れの挨拶をかわすシーンから、テントのモニター（協力者）がまだ日本の中枢に入り込んでいることに危機感を感じる乃木憂助（堺雅人さん）と黒須駿（松坂桃李さん）が天才ハッカー太田梨歩（飯沼愛さん）の協力で、日本のモニターをあぶり出すシーンでした。

ベキが公安に引き渡され、テントは解体となることで問題は解決するかに思われましたが、まだテントのモニターが日本に潜伏していることから、緊迫した展開が続き、テントのモニターの正体は一体誰なのかという疑問から視聴者が画面にくぎづけとなりました。

●2番目に注目されたシーン 22時10分 乃木がベキに発砲するシーン 注目度：76.6%

ベキが“復讐”する相手として、最後の最後に登場した内閣官房副長官の上原（橋爪功さん）を撃とうとするベキに立ちはだかったのは、乃木でした。ベキは乃木に対して、「撃てるものか。お前は私の息子だ」と言いますが、直後に乃木に撃たれ、倒れる場面でした。

父親に対して乃木が本当に発砲できるのか、この緊迫したシーンに視聴者はハラハラとドキドキし、注目したと考えられます。

●3番目に注目されたシーン 22時16分 乃木が薫とジャミーンを抱きしめるシーン 注目度：76.4%

乃木が、柚木薫（二階堂ふみさん）とジャミーンの元に帰り彼らを抱きしめるシーンでした。薫が乃木に「お帰りなさい」といい乃木が「ただいま」と応え、薫とジャミーンを抱きしめます。その後、乃木の別人格Fが脳内に登場し、「おいおいおい良いところ悪いけどよ、憂助。そろそろ見たほうがいいんじゃないの？置いてあるぞ」と言い放ち、目線の先に、一つの別班饅頭が置かれてるという展開でした。

過酷な任務を終えた乃木が薫とジャミーンのもとに帰れたという大円団と、別班としての乃木の任務はこれからも続くという次回作に期待を抱かせるラストに注目が集まったと思われます。

『VIVANT』最終回はREVISIOの調査による世帯視聴率でも平均19.7%と高い視聴率を誇りました。空前絶後のスケール、謎に満ちたストーリー展開で日本中を熱狂させた『VIVANT』。放送後の反応では、視聴者は興奮冷めやらぬ状況で、「『VIVANT』ロス」や、早くも次回作を熱望する声があがっています。

REVISIOでは今後も、思わずくぎづけになってしまう番組やコンテンツを分析していきたいと思っています。

■分析データの概要

日時：2023年9月17日（日）21時～22時19分

放送局：TBS

属性：個人全体

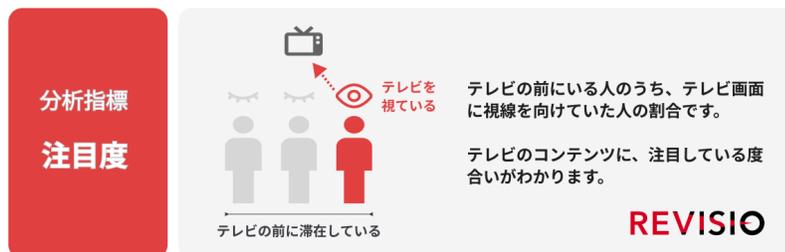
地域：関東地域

調査パネル：関東2,000世帯

■今回分析に利用した指標について

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



REVISIOでは、視聴者のテレビへ視線がどれだけ向けられたのか、テレビ番組では毎分、CMでは毎秒でデータを取得しております。今後も注目のテレビ番組やCMの分析を行って参ります。

<本件に関する問い合わせ先>

REVISIO株式会社 広報担当 佐野
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階
E-mail info@revisio.com
Tel (担当直通) 050-5468-2785

【REVISIO株式会社について】

REVISIO株式会社は2022/10/1より、TVISION INSIGHTS株式会社から社名を変更いたしました。人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。ご家庭のテレビに、REVISIOが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、ちゃんと見ているか」というREVISIO独自の注視データを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組の視聴データ、ならびにコネクテッドTVの注視データを提供しています。